



千葉県生協連活動報告

発行：千葉県生協連

TEL 043-224-7753

第2回 職域生協部会を開催しました！

3月10日（火曜日）2020年度 第2回職域生協部会をZoomで開催し、職域生協、日生協職域生協事務局、中央地連から10名の参加がありました。（内 3名はフードバンクちばの事務所より参加）

鶴岡部会長より、コロナ禍のなかで、事業活動の自粛や縮小など様々な影響があり、特に子どもや若者の生活がより一層過酷な状況になり社会問題になっているので、今回はフードバンクちばの取組みを聞き、食品ロスや貧困問題を共有し支援のための連携の強化を図っていききたいとあいさつがありました。

はじめに、フードバンクちばの菊地代表より、フードバンクとは、企業（会社）や家庭から売ることや利用することができなくなった食品の寄付を受け、福祉施設や生活に困っている人などに無料で提供する活動であるとの説明を受け、フードバンクが広がる背景（食品ロスの問題と生活困窮者の増大）やフードバンクちばの設立、支援活動の現状について詳しい説明を聞きました。

フードバンクちばでは、主に個人（世帯）への支援を行っています。（1ヶ月あたり約150～180件の個人・世帯への食糧支援）またコロナ禍でアルバイト等が減った大学生、留学生や定時高校生などの支援も行っています。食品ロス削減や困窮者支援に関わる企業も増え協力、連携体制ができてきました。今では、年3回「フードドライブ」の他に、生協をはじめいろいろな人達がフードドライブの取組みに賛同して沢山の食料品の寄贈があります

菊地代表の説明後、フードバンクちばの事務所内を映像で案内してもらいながら、フードバンクの取組みや活動について質疑応答と情報交換をしました。

寄贈されたお米



箱詰をする場所 寄贈してくれた食料品を分類別棚に、送る量は、10～14日分を申請してくる方の事情やアレルギー、栄養を考慮しながら箱詰めをしています。

県連事務局からコロナ禍で、千葉県内でアルバイトの減少などで日々の生活が大変な状況に追い込まれている大学生を応援するために千葉県協同組合提携推進協議会を中心に食糧支援活動をする事について報告がありました。